

資料 2

平成 30 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 2 月 27 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳 沢	家庭の教育力向上 講座 イライラを 減らす勇気づけの 子育てとは？ ～生まれてきてく れてありがとうと 言える自分になる ために～	学習・ 自己実現	①11 月 17 日(土) ②12 月 1 日(土) A10時～12時20分 B13時10分～15時 30分 A、B各全2回	延べ37人	子育ての悩みを地域の仲間と 共有し、親としての自分自身 を見つめることで、子育ての 楽しさや子どもの大切さに気 づくきっかけとなった。 わが子の行動の中にある良さ に気付けるようになる動機づ けと、子どもの「自信」と「や る気」を育む接し方を学んだ。	青木千景（誕生学アドバイ ザー・バースコーディネー ター） 福岡淳子（保育と人形の 会・日本子どもの本研究会 会員） 成瀬夕子（勇気づけ親子心 理学講座講師、看護師）
2	柳 沢	柳 沢 寄 席	交流	平成 31 年 2 月 5 日 (火)	71 人	第 8 回柳沢寄席を終えて次回 寄席希望が多数あり市民ニー ズに応えるべく検討したい	柳家小平太（日本落語協会 所属落語家） 東京都消費生活総合セン ター出前寄席 所属芸人 出前寄席OB 会

3	田 無	ライフスタイル講座 共に生きる社会をめざす～障がいのある子どもと「護道介助法」～	学習・自己実現	平成31年1月27日 (日)	21人	知的障がいのある子どもを通常学級に通わせた親と子の体験を聞き、知的障がいのある子どもをとりまく問題について知る機会となった。	廣木道心（国際護道連盟宗家、護道介助法創始者）
4	芝久保	子育て中の女性のための講座 おこりんぼうママの笑顔復活プロジェクト	学習・自己実現	4月17日（火）～ 12月7日（金） 全18回	15人	子どもを含め家族との接し方や関係を見直すことができました。 自分自身の良さに気づくきっかけになった。	成瀬夕子（勇気のなる木代表、看護師） 磯部敬子（健康運動指導士） 久松順子（西東京市障がい児の自立を考える保護者の会） 岩崎澄子（国際ボンディング協会 多摩支部）
5	芝久保	写真で紡ぐ あなたの物語	学習・自己実現	平成30年9月25日～平成31年1月22日 火曜日 全14回	11人	撮った写真とその背景の話をシェアすることで、他者を受け止めることと自分を見つめ直すことが自然につながった。誰の中にも物語があることを実感し、他者への共感と想像力を働かせることの大切さを体験できた。	落合由利子（写真家）

6	芝久保	子ども体験講座 書き初めに挑戦!	学習・自己実現	12月26日(水) ①10時~11時半 ②13時~14時半 ③15時~16時半	44人	市内の小中学校各校から多くの参加者が集まった。課題に集中して取り組み、達成感を味わうことができた。	講師:中谷玲子(書道講師) 補助員:武田展子(みどり会・書道サークル)会員 ボランティア:伊藤邦子(芝久保公民館利用者、書道講師)
7	谷戸	子ども体験講座 おせち料理にチャレンジ!	学習・自己実現	12月27日(木) ①10~12時 ②13時30分~15時30分	延べ23人	おせち料理を通し、日本の伝統行事や食文化について知識を深められた。また和食ならではの多彩な手法や道具を使い、自分で調理することで達成感が感じられた。	吉田朋子(管理栄養士・キッズキッチンインストラクター)
8	ひばりが丘	ロビーコンサート	地域づくり	①6月9日(土) ②12月1日(土)	①101人 ②90人	・他世代の方が来場し、演奏者と一体となって歌い、世代を超えて楽しむ機会となった。 ・団体自身が考え企画実施できたことは、出演サークルの企画運営経験のよい機会となりまた、大変多くの来場者が演奏を楽しんでくれたことが、さらに活動を進めていく上でのモチベーションの向上につながった。	ひばりが丘公民館利用団体 ①マンドリンアンサンブルひばり ②オカリナ「風の丘」

9	ひばりが丘	小・中学生の書初め講座	学習・自己表現	12月26日(水)	14人	講座の開始時に講師より文字を書いている間は雑念を捨て「無」になって筆を動かすように指導をされ、一枚一枚丁寧に書いていた。受講者からは「書初めの楽しさが良くわかった」「面白かった」「上手にかけるようになった」と書の楽しさや面白さ「自分なりの良い字」をかける喜びを体感する機会となった。	公民館活動団体「泉舟会」 千田泉舟
10	保谷駅前	現代的課題を考える講座	学習・自己実現	平成30年11月17日～平成31年1月28日	30人	「場」づくりとは何なのか、自分の暮す地域にはどのような「居場所」が必要なのか、講師と共に考え合うことが出来た。 西東京市の中で現在展開中の「居場所」や「サロン」の事例を知り、その成果を交流し合う中で、受講者も「居場所づくり」の主体となり得ることが理解出来た	高橋 薫（文化学習協同ネットワーク） 長田英史（NPO法人れんげ舎代表） 川崎 圭（西東京市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター） 佐藤龍一（栄町地域包括支援センター） 西原みどり（主任児童委員・ぷらっとサロンきたまち） 塚田洋子（ほっとネット推

							進委員) 須古悠美子 (新町民生委員) 鈴木みどり (かたらいの場 “チャオ” 代表)
11	保谷駅前	小・中学生の書き 初め講座	学習・自 己実現	① 12月26日(水) ② 12月27日(木)	延べ22人	市内の小・中学生が筆の扱う コツを学び、真剣に且つ楽し く取り組み、良い作品ができ たと実感できた。 また、お互いの作品を鑑賞し 合い、意見交換し、学びを共 有して交流を深めることがで きた。	講師：渡部正子 (書道大学 教授) アシスタント：増田博子 (公民館活動団体翠正会 メンバー)
12	保谷駅前	保谷駅前公民館 10周年記念「多文 化お茶会～台湾・ 韓国編」	交流	平成31年1月26日 (土)	17人	「西東京にほんご教室」は23 年前から西東京の地で活動を 始め、当初は住吉公民館で活 動していたが、保谷駅前公民 館が開館後も、継続して活動 を続けている。その間、多く の外国人と地域住民とが日本 語の学習のみならず、お互い に持っている文化背景の学び 合いをしてきた。今年、保谷 駅前公民館が開館10周年を	「西東京にほんご教室に 参加する学習者」(台湾、 韓国の出身者)

						迎えるに当たり、にほんご教室としてもひとつの区切りとして行事に参加することができた。	
--	--	--	--	--	--	--	--